

令和2年3月13日

組合員各位

新型コロナウイルス感染拡大防止への学習塾の対応について 第5報

全国学習塾協同組合 理事長 森 貞孝

1. 安倍総理はさらに10日間程度、集会やイベントを自粛するように求めました。
2. 選抜高校野球も中止になり、遊園地やスポーツジムなど人の集まる場所は、閑散としています。
3. ヨーロッパで感染者が急増しており、特にイタリアは1日に感染者が2000人を超え、国内すべてで人の移動を禁止しました。
4. 世界各地で感染者が報告され、拡大が続いている状況です。
5. 日本も感染者が増え続けていますが、爆発的な状況は抑えられていると見られています。
6. 感染者が出なかった佐賀県では、3月16日より学校の授業を再開します。
7. 緊急事態宣言を出した北海道では、週1回60分程度の分散授業を始めます。具体的には1年生9:00～、2年生10:30～、3年生13:00～、4年生14:30～、5年生翌日9:00～、6年生翌日10:30～のような形を例示しています。
8. 十和田市や柏市などは、小中学校で希望する児童生徒の受け入れを行っています。
9. 八戸市など、臨時登校日を設定しているところは、全国にかなりあります。
10. 浜松市・那覇市などは、ほぼ感染拡大を抑えきったと考えて、16日から19日まで授業を再開します。
11. 市中感染が増えています。幼児保育の現場でも保育士からの感染が報告されています。いつ学習塾からの感染が話題になるかもしれません。
12. 生徒に持たせる「新型コロナウイルス感染予防カード」を作成しました（別途郵送）。ぜひご活用ください。
13. 学習塾は、3月4月の募集時期を上手に乗り切るかどうか、経営が続けられるかどうかのポイントになります。
14. 今年の春期講習はどのようになるか、全体像がつかめません。4月中旬まで新型コロナウイルスの騒ぎが続くと、下手をすると生徒が半減して経営できなくなる可能性があります。
15. また、観光客の急減によって、いたるところでキャンセルや大幅な収入減が起きています。日経平均株価も急落し、円高も起こっています。激しい不況が起こる現実が目の前です。個人消費が冷え込みます。家庭の財布の紐がきびしく締められて、高校入試や教育にお金をかけられないことになった時、他塾と同じことをやっているのは、淘汰されてしまいます。
16. 他塾にない指導力、カリスマ性、実績、アイデア、信頼性、親や生徒が飛びつくコースや好奇心を掻き立てる企画、そのような何かを持つことが必要かもしれません。
17. 今回、突然の休校、そして人が集まることへの自粛。大手塾は映像授業とオンラインでの授業に切り替えてほぼ問題なく指導し続けました。むしろ学校が休みになって親が困っているときに、有難うと感謝されている塾もあります。
18. 塾の真価を問われる、あるいは塾長の経営手腕を問われる時です。人まねでは誰もついてきません。
19. 来週3月18日午前10時から緊急情報交換会を目白の事務局で開催します。参加ご希望の方は、メールまたはFAXにて「3/18情報交換会 参加希望 塾名・参加者名」をご記入の上、お申し込みください。
20. アンケートを同封いたしました。このアンケートで貴塾の方針、周辺の塾の情報を知りたいと思います。